



「かすみさんがタケノコをくれるって。もらいに行っちゃようだい」とお母さんがいいました。

かすみさんはお母さんの高校時代からの友だちです。そしてわたしと同じクラスのりょうたくんのお母さんです。

お母さんはかすみさんとときどきいっしょにおでかけします。買い物に行ったり、クラシック音楽がすきなかすみさんにつき合ってコンサートに行ったり、ランチに行ったりします。ふたりはとつてもなかよしに見えるのに、お母さんはかえってきてから、かすみさんのわるぐちをいうことがあります。

「わたしはブラウスとスカートだったのに、かすみさんたら、ドレスみたいな服を着てくるんだもん。指には大きいオパール指輪をはめていたし。ああいうところがあるの

粘土
みたいな
気もち

作・岩瀬成子 絵・タカタカワ

よね、あの人って。人をだしぬくの」

かすみさんはおしゃれです。ときどき香水をつけています。髪を茶色に染めていて、マスカラをぬったまつ毛がくるとカールしています。

「かすみさんは友だちじゃないの」とわたしがきくと、「友だちよ」とお母さんはいいました。でも、お母さんがくやしき気持ちになってくることが、わたしにはわかりました。りょうたくんの家のインターフォンを押すと、すぐにかすみさんがドアをあけてくれました。そして家の中にむかって「りょうたくん」とよびました。

玄関に、タケノコの頭がのぞいているポリ袋が二つ置いてありました。

「たくさんいただいたから、おすそわけ」